

## 2 回生英語重視コース生への重要な連絡の件

### 2 回生英語重視コースの皆さんへ

2010 年度春学期も早いもので、すでに約 1 ヶ月経過しました。2 回生の皆さんは、勉学をはじめ 2 年目の大学生活を益々充実して過ごされていることと思います。ゴールデン・ウィークも終わり、いよいよエンジン全開となる頃ですね。そこで本日は、英語科目、特に英語 5 を履修している皆さんへ、重要なお知らせがありますので、以下の点について一度目を通しておいて下さい。

前年の新入学時の英語ガイダンス、またその際全員に配布された「外国語学習ハンドブック」にあるように、英語科目では、

- 1) 欠席や遅刻は、授業内容や大切な情報を聞き逃すだけでなく、減点の対象となります。
- 2) 30 分以内の遅刻は、たとえ 5 分でも遅刻となり、遅刻を 3 回すると、1 回の欠席としてカウントされます。
- 3) 30 分を超える遅刻は欠席扱いとなりますが、それでも学習のために授業に出ることを勧めます。
- 4) また、授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は、自動的に不可 (F) となります。出欠・遅刻の回数は自分で記録して管理しておきましょう。

さて 5 月 12 日までに、英語 5 では 5 回授業がありました。授業数の 3 分の 1 以上の欠席 (つまり 6 回以上) には、まだ誰も達していないはずです。ですから、今まで欠席のない学生は言うまでもなく、欠席のある学生でも、これから頑張れば合格する可能性は十分にあります。ぜひそうして下さい。ここで、なぜそうする必要があるので、お知らせしておきます。

#### < 単位回復科目について >

必修英語科目 (要卒単位) が不合格 (F 評価) になると、それを補うために単位回復科目を次年度以降に受講する必要があります。その際の注意点:

単位回復科目にも定員があるので、定員オーバーすると履修できない場合があり、今後の履修計画に支障がでます。

単位回復科目でも不合格があります。

成績は、合格しても「C 評価」のみとなります。「A+、A、B 評価」はありません。

単位回復科目の授業時間のために、専門科目や他の科目が履修できない場合があります。

つまり、必修英語科目 (英語 5 等) を落とすと後が大変! という事態になります。ですから、安易に授業を欠席することのないように、そして必修英語科目を落とさないように頑張ってください。

#### < 助けが必要な時 >

もし英語科目履修上、(あるいは大学生活自体に) 何か問題があれば、一人で悩まないで必ず help/advice を求めるようにして下さい。どこに求めるかと言うと、

英語担当教員に相談する。または、

産社事務室に相談する。

ぜひ皆さん自身が産社に来て良かったと思えるように、英語の授業をはじめとして、充実した大学生活に取り組んで下さい。ご健闘を祈ります。

2010年5月12日

産社英語コーディネーター